

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 2 月 7 日(水)～平成 19 年 2 月 13 日(火))

平成 19 年 2 月 14 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

2 月 7 日(水)

- ベラルーシ、宇宙産業育成の継続と地球観測システム構築を決定 【ベラルーシ】
2 月 2 日(金)(現地時間、以下同じ。)、ベラルーシのルカシェンコ大統領は、国内の宇宙産業育成計画の必要性を述べるとともに、同国の最先端科学技術の活性化のための国家宇宙プログラムを作成することを発表した。また、同大統領は、新たな地球観測衛星「BelKA」タイプの製造・打上げ(BelKA:2006 年 7 月に打上げ失敗)及び同国独自の衛星管制センターの設置を決定した。

2 月 8 日(木)

- 中国国務院、海洋 2 号プロジェクトを承認 【中】
報道によれば、2 月 1 日、中国国家海洋局(SOA)の孫志輝局長は、海洋観測衛星「海洋 2 号(HY-2)」プロジェクトが中国国務院より承認されたと述べた。HY-2 シリーズは、HY-1 シリーズの後継衛星。これまで HY-1A が 2002 年に打ち上げられ、

2 月 9 日(金)

- インド、月周回機を 2008 年 3 月 30 日打上げの可能性 【印】
報道によれば、2 月 8 日にインドで開催されたワークショップ「Indian Institute of Technology」で、ヴィクラム・サラバイ宇宙センター(VSSC)の Trivandrumv. Adimurthi 氏が、月周回機「Chandrayaan-1」は既に完成し、2008 年 3 月 30 日に打ち上げられる予定であると述べた。